



今年度も残り1か月になりました。いろいろな取組を行ってきましたが、子どもたちはどのように成長したでしょうか。12月にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。職員が実施した評価とともに学校運営協議会委員の方に見ていただきました。その様子をお知らせします。

本年度の具体的な取組

- ① 幼児の思いや姿から成長につながるような義務教育学校との交流を行う。
- ② 幼児が「やってみたい」と思うような遊びの環境をつくり援助を行う。



児童との交流を年間計画に入れて実施しています。ルールのある遊びを経験させたいときは1年生とばなな鬼、発表会前には発表する児童の見学、4年生には店ごこの商品づくりの手伝い、1年生を客として招待するなど、その時期に幼児に経験してほしいことや幼児の思いを取り入れた交流となるようにしてきました。幼児は学校の施設や児童に親しみの気持ちを持ち、憧れや頼る気持ちをもっています。

【学校関係者評価委員から】五つ星学園だからできる取組であり、幼児は施設や児童に親しみの気持ちをもっている。交流も計画しているから実施されるので、しっかり計画するとよい。



「やってみようかな」「できるようになりたい」「明日もしたい」という気持ちをもってほしいと願っています。同じクラスの友達同士、大きい組の幼児の姿に刺激を受け、同じようにしようしたり、考えたり、工夫したり、毎日取り組んだりするようになってきています。

【学校関係者評価委員から】幼児の思いを受け入れ、思いを表現するまで待つ教師の姿勢が大切であると考え。今後も続けてほしい。

きりとせん

読まれた感想・ご意見などありましたら教えてください。園長だより 11 ()組 園児名 ()